

2019 年度 事業報告

昨年度に続き、2019 年度も全国的に災害が多発した年となりました。なかでも台風 15 号、台風 19 号による風水害は関東地方に大きな被害をもたらしました。また、三重県内でも台風 19 号による豪雨で伊勢・志摩地域の住宅が冠水するなどの被害に見舞われました。

そのような中、供給面で大きな支障のなかった L P ガスは改めて災害に強いことを証明しました。一方で、本年度も充填所からの容器流出が発生し、水害に対する備えについて不十分であることを露呈することとなり、次年度へ課題を残すことにもなりました。

公立小中学校への空調設置については、国の補助金活用などにより一般教室で進捗が進む中、避難所となる体育館については未設置が多く、対策面で課題を残しました。

また、2016 年の電力小売全面自由化、2017 年の都市ガスの小売全面自由化によりエネルギー間競争は年々熾烈化し、L P ガス業界においてはオール電化、都市ガス転換に加えて同業者間での切り替えも多発した年となりました。

そのような環境下、保安の確保、取引適正化、快適な生活提案などの活動に加えて、新型コロナウイルス対策についても三重県独自の指針を策定するなど、お客様から選択されるエネルギーとなるべくさまざまな対応を進めてまいりました。

2019 年度事業活動及び委員会活動は以下のとおりです。

■需要開発委員会

需要開発委員会では、L P ガスの更なる需要拡大と L P ガスによる豊かな暮らし、快適・便利で安全な暮らしをお客様に提供するため、以下の活動を実施しました。

「需要開発推進運動」を積極展開し、未来に向けた需要開発として三重県独自の取り組みも展開しました。

1. 需要開発推進運動の推進

(1) 食育活動「いただきます応援宣言 for kids」

未来を担う子供達に日本の食文化を伝えていくことを目的に、日本独特の文化とされる「いただきます」「ごちそうさま」のこたばの意味やお箸の正しい使い方の出前授業を社会貢献活動として、地域協議会と共催で実施しました。

この事業は、2013 年度から継続しており、本年度は以下の通り開催しました。

・ 2 月 4 日 (火) 亀山市協議会 野登ルンビニ園 園児 40 名

累計では 14 回を数え、826 名の園児に参加していただきました。

(注) 3 月 5 日 (木) に開催予定でした「いなべ市立員弁東保育園」は新型コロナウイルス感染防止のため、次年度に延期いたしました。

(2) 親子クッキングコンテスト三重実技大会

2014 年度から県立相可高校食物調理科の村林先生、生徒さんの全面協力を得て、親子で楽しく、L P ガスの炎で美味しい料理を作るコンテストを開催しております。

本年度は 11 月 4 日 (月・祝)、県立相可高校食物調理科にて 6 組の親子に出場いただき、開催いたしました。また、本大会で優勝しました三重県の代表は 12 月 8 日 (日) に

第1号議案

開催された東海大会において「栄養バランス賞」を受賞いたしました。

2. Gライン活動

ガス体エネルギー、ウィズガスとしてガスの良さを訴えることを主目的に活動を展開してきました。

(1) Gラインセミナー（愛知・岐阜・三重）

9月3日（火）、じゅうろくプラザ（岐阜市）において開催され、三重県L Pガス協会からは33名がセミナーに出席しました。

- ・講演 「国策におけるエネファームの位置づけ及び取り巻く動向」

講師：東邦ガス㈱リビング計画部 奥村 拓也 氏

- ・特別講演 「不撓不屈～野球が教えてくれた3つのこと～」

講師：プロ野球解説者 和田 一浩 氏

3. 全国L Pガスワンランクアップキャンペーン

全国L Pガス協会が需要開発推進運動の取り組みとして始めましたキャンペーンも本年で3年目となりました。当委員会はキャンペーン趣旨に賛同し、広く会員へ呼びかけ、販売促進の一助として活動に取り組みました。

〈応募結果〉 応募件数 149件（全国 5,370件）、当選数 15名（全国 500名）

■流通委員会

流通委員会では、お客様との良好な取引を図るべく、会員に向けて取引適正化指針・L Pガス販売指針の周知、お客様からの困りごと相談の対応など幅広く、能動的に活動しました。

1. 業界の発展基盤の強化

(1) お客様相談所

お客様相談所を継続開設し、消費者からの多様な相談に応え、業界への理解と地位向上を目的に事業を行いました。

- ・相談件数 100件（前年度比 +67件）

主な増減は、L Pガスの価格についての相談件数が前年比 +25件となっています。

- ・お客様相談所委員会の開催

1月21日（火）、プラザ洞津で消費者代表として三重県地域婦人団体連絡協議会、四日市消費者協会、また行政担当委員として三重県消費生活センター、三重県防災対策部消防・保安課を招いて開催しました。その後、㈱パロマ三重営業所によるガス機器関連の研修を実施しました。

(2) 悪質な訪問販売、詐欺・点検商法への注意喚起文書配布による防犯啓発

三重県警察本部、三重県消費生活センターと連携協力し、悪質な訪問販売や多発する詐欺被害についての防犯チラシをリニューアルし、会員からお客様へ配布しました。

(3) 広報活動

三重県独自のキャラクター（エルくん、ピーくん、ジーくん）を用いたオリジナルCMを三重テレビ放送で冬期を中心に放映してきました。また、全国L Pガス協会が制作したCMについても放映を開始しました。

第 1 号議案

新聞広告については従来通り 3 県（愛知・岐阜・三重）が合同で実施し、中日新聞へ 10/10(木)（L P ガスの日）に掲載いたしました。

■保安委員会

保安委員会では、保安の確保は L P ガス事業の基盤であり、お客様に安全・安心をお届けすべく、自主保安をさらに高度化することで、選ばれる業界・選ばれる事業者を目指し、以下の事業を推進しました。

1. 保安の確保の充実

(1) 保安啓蒙活動補助金事業

各地域における保安啓蒙活動への支援として事業補助制度を設けており、今年度は 9 地域協議会、16 事業で活用いただきました。地域イベント事業への参画に加えて、NTT タウンページが発行する防災タウンページに保安啓蒙記事を掲載するなどの活動に取り組みました。

(2) L P ガス快適生活向上運動 “もっと安全さらに安心”

昨年度に続き、「お客様に安心して L P ガスをご利用いただく」ために、これまでに実施してきた事故防止対策等の検証を行うとともに、地域性を踏まえた対策を実施してきました。

具体的な活動としては「自主保安活動チェックシート」を活用し、項目ごとの強い点の一層の向上と弱い点の改善策を図り、事故防止対策に繋げてまいりました。

- ・ 回収率 三重県 90.6%（全国平均 89.7%）

(3) 地域保安指導事業

保安高度化運動として、今年度も 4 会場で保安関係講習会を実施し、保安教育の一環として活用いただき、151 名が受講されました。

また、保安関係講習会に併せて新コスモス電機(株)、理研計器(株)によるガス検知器、CO 測定器の無料診断を実施しました。

開催日	会 場	講 習 内 容	受講者数
11 月 7 日	エルピーガス会館	保安業務指導・立入調査報告	31 名
11 月 14 日	四日市市文化会館	保安業務指導・立入調査報告	53 名
11 月 21 日	伊賀市勤労者福祉会館	保安業務指導・立入調査報告	18 名
11 月 26 日	県営サンアリーナ	保安業務指導・立入調査報告	49 名

■災害対策等委員会

災害対策等委員会では、喫緊の課題とされる「南海トラフ巨大地震」などの対策整備が急務であり、地域協議会とともに県及び関係機関との連携、中核充填所との連携整備を中心に主体的に活動しました。

1. 災害時における対応強化

(1) 災害時対応機器備蓄

地域社会貢献活動として、本年度は津市に災害時対応機器を備蓄しました。

第 1 号議案

年 度	備 蓄 先
2012 年	尾鷲市 尾鷲市防災センター 南伊勢町 旧町立五ヶ所中学校
2013 年	熊野市 市立木本中学校 鳥羽市 旧鳥羽小学校跡地
2014 年	伊勢市 光の街コミュニティーセンター 紀北町 紀北町役場
2015 年	志摩市 志摩市鶴方防災児童公園 大紀町 錦支所
2016 年	松阪市 鈴の森公園駐車場 明和町 明和町総合体育館
2017 年	四日市市 南部拠点防災倉庫 —
2018 年	木曾岬町 木曾岬町防災センター —
2019 年	津市 津南防災コミュニティーセンター —

(2) 災害対策の整備

ガス事業者からの被災状況報告について、全国LPガス協会の統一書式を基に改良を加えた報告書式を使用して情報伝達訓練を実施しました。今後、定期的に情報伝達訓練を実施する中で各地域協議会の意見を踏まえ、実効性のあるものにしてまいります。

(3) 災害時燃料供給WG（ワーキング）

災害時燃料供給WGは南海トラフ地震対策中部圏戦略会議 救出救助・総合啓開分科会の下に設置されたものです。このWGは南海トラフ地震を始めとした災害時における円滑な燃料供給の実現に向けて最適な道路啓開計画に資する、関係省庁等による情報共有に基づく燃料インフラの検証を行うことを目的としており、災害に強い燃料であるLPガスが着目され当協会もオブザーバーとして参画しています。

■中核充填所委員会

中核充填所とは、東日本大震災の教訓を活かすことを目的に石油の備蓄の確保等に関する法律を改正し、「災害時石油ガス供給連携計画」を地域単位で義務付けて自立供給機能を持つ充填所を全国に指定し、整備したものです。（現在、全国 342 箇所、県内 11 箇所）

それに伴い、中核充填所委員会では災害時に備えて行政や関係機関、第 4 地域（東海 3 県、北陸 2 県）や全国LPガス協会とも連携し、活動いたしました。

1. 災害時石油ガス供給連携計画に基づく実施訓練

(1) 三重県中核充填所稼働訓練

10月9日（水）、関西プロパン瓦斯(株)尾鷲営業所をメイン会場として、また日通エネルギー中部(株)三重支店をサブ会場として中核充填所機能を稼働させる訓練を実施し、中部経済産業局、三重県紀北地域活性化局、尾鷲市、紀北町、三重紀北消防組合、尾鷲警察署、地域自治会関係者など多くの方々にも訓練を見学いただきました。

また、日本赤十字社三重県支部からも炊出訓練に参加いただき、災害救助用炊飯袋（ハイゼックス）を用いた炊飯方法について指導いただきました。

(2) 第 4 地域連携情報伝達訓練

11月28日（木）、経済産業省の実施勧告を受けて、三重県南方沖を震源とする震度 7 の地震発生を想定した第 4 地域情報伝達訓練を実施しました。

第 1 号議案

(3) 石油ガス地域防災対応体制整備事業（中核充填所整備補助金事業）

各地域における協議体制の整備等及び地域防災訓練実施を行うための事業費補助金を受け、稼動訓練機材及び防災機器を整備しました。

(4) 高圧ガス実験・訓練

10月15日（火）、三重県消防学校において、青年委員会を中心としたメンバーが参加して高圧ガス移送時の容器からのガス漏洩時における消火訓練、及び防災工具を用いた警戒区域の設定など事故発生に対する訓練を実施しました。併せてLPガス発電機の展示や稼動を実施し、災害時の有用性をアピールしました。

■総務委員会

総務委員会では、組織としてのコンプライアンス、ガバナンスを重視し、会員サービスの拡充、会員支援、業界情報の発信など健全な運営を目指してまいりました。また、協会建物、施設、備品等の適正な維持管理に努めました。

(1) 「LPニュースみえ」の発行（8月、1月の2回発行）

(2) 会員サービスの拡充

LPガス販売における付加価値サービスとして導入した「LPガス協会安心サポート・駆けつけ新選組」の加入促進とそのフォローに努めました。

(3) 協会建物及び施設の維持管理

各種講習会での女性受講者の増加に配慮し、老朽化していた女性トイレの一部を和式より洋式へ改修を行いました。また、エルピーガス会館の前面道路への公共下水道敷設に伴い、将来の公共下水道への接続準備として水道メーターの移設と公共下水の引込み、汚水枳の設置工事を実施しました。

(4) エルピーガス会館の貸し出し

会館会議室の不使用日に会員、又は会員の関連団体に限定して貸し出しを行い、会員への便宜を図りました。※2019年度の貸出実績 7回

(5) その他事業の促進

その他事業 1（斡旋物販売事業）

その他事業 2（教材販売事業）

その他事業 3（教育事業）

その他事業 4（全国LPガス保安共済事業団）

その他事業 5（全国LPガス協会 LPガスライフ事業）

■青年委員会

青年委員会では、エネルギー間競争の激化、省エネ志向の進展、世帯数の減少によるガス販売量の減少など業界の置かれた環境が厳しさを増していく中、次世代を担う後継者を育てるべく自由闊達な活動を進めてまいりました。しかしながら、各地域で会員不足で活動ができない事態が起きております。そのような状況下、青年委員会では現実的な問題に対する研修活動等に積極的に取り組みました。

(1) 研修会「同業に学ぼう！」〈三重県卸売協議会との共同開催〉

この研修会は、業界の置かれた環境が激変し、ますますエネルギー間競争が激化する中、次代にLPガスが勝ち残っていくために今、何を考え、どんな行動をするかの契機とすべ

第1号議案

く毎年企画しております。

第7回目として、3月9日(月)エルピーガス会館にて下記の通り計画しました。

講演 ① 「自然災害に備える」

三重大学 川口 淳 准教授

講演 ② 「災害救助用炊飯袋と火起こし体験学習について」

滋賀県LPガス協会 駒井 敬一 総括部長

(注)今回は新型コロナウイルス感染防止のため、次年度に延期いたしました。

(2) 火育活動「炎に学ぼう！」

炎の文化継承を目的に下記の通り、火起こし体験等の出前授業を実施しました。

- ・ 「いなべ市立 阿下喜小学校」 7月9日(火) 参加者 5年生 30名

■公益目的支出計画に定めた主な実施事業

1. 公益目的財産額と公益目的支出計画実施状況

① 認可時公益目的財産額 112,800,235 円 (2013年6月確定)

公益目的支出計画の実施期間 16年間

② 期首公益目的財産額 49,813,321 円

当期公益目的支出額 6,073,492 円

③ 期末公益目的財産額 43,739,829 円

(1) 継続事業1 災害対策事業

(被災時の初期対応及びライフラインとしてのLPガスの復旧支援事業等)

① 災害時対応機器備蓄事業

- ・ 7月5日(金) 津市/津南防災コミュニティセンター

(2) 継続事業2 広報事業

(機器の適正な管理による保安の確保、エネルギーの賢い使用方法等についての紹介)

① 広報事業

11月~1月 三重テレビ 三重県LPガス協会オリジナルCMの放映

中日新聞への広告掲載(愛知県、岐阜県、三重県共同事業)

② 食育活動「いただきます。応援宣言 for kids」

- ・ 2月4日(火) 亀山市協議会 野登ルンビニ園 園児 40名

③ 火育活動「炎に学ぼう！」

- ・ 「いなべ市立 阿下喜小学校」 7月9日(火) 参加者 5年生 30名

(3) 継続事業3 啓蒙事業

(広報事業との連携事業、展示会や講演などによる保安啓蒙活動)

① 地域保安啓蒙活動補助金事業

9地域協議会 16事業活動に補助金として支援

② 全国親子クッキングコンテスト

- ・ 11月4日(月・祝) 三重実技大会 県立相可高校食物調理科

- ・ 12月8日(日) 東海大会 東邦ガス栄ガスビル

以上